

信州大学大学史資料センター

福島 正樹

(同センター特任教授)

〈概要〉

信州大学は、一九四九(昭和二四)年に国立の新制大学として、長野県下の高等教育機関七校(松本医科大学、松本高等学校、長野師範学校、長野青年師範学校、長野工業専門学校、上田繊維専門学校、長野県立農林専門学校)を母体に発足した。大学名は原則県名とする方針が文部省から示されたが、本学は日本で唯一旧国名を冠した。現在は人文・教育・経法・理・医・工・農・繊維の八学部で構成されている。

信州大学大学史資料センターは、信州大学創立七〇周年を契機として、二〇一七年四月、附属図書館のもとに設置された。業務内容は、本学の歴史に関する資料を収集・整理・保存のうえ、歴史資料アーカイ

ブを構築し、公開、展示などの業務を推進することである。

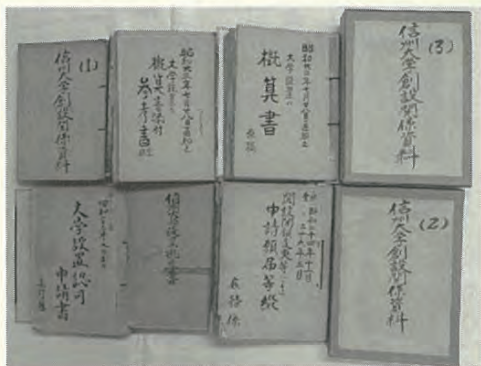
創立七〇周年記念事業の実施を直接の目的として設置されたことから、卒業生や旧教職員からの資料の寄贈活動を中心に活動を進めてきたが、記念事業を終えた段階でセンターの活動評価が行われ、一〇〇年史を目指した継続的活動が行われることになった。

学術情報担当の副学長である附属図書館長がセンター長を兼務し、特任教員および技術補佐員若干名によって業務を行っている。運営に関しては全学部から選出された教員からなる運営委員会が組織されている。

〈資料の収集〉
収集対象は①卒業生資料、教職員資料、歴史的資料、関係機関資料、②大学文書、広報資料、教育研究の成果など。③は①②の複製物および所在情報などの情報である。

まず①について。センター設置から四年間で収集された資料の中心は、卒業生・旧教職員三〇〇人余からの約五〇〇〇点の寄贈資料で、今後も継続的な収集活動を行っていく。大学入学試験合格通知、入学許可書、学生証、サークル活動がわかる機関誌、チラシ、ポスターなどがあげられる。現在仮目録の作成中で、一部をWeb上で公開している。

次に歴史的資料として重要なものとしては、文理学部の前身である旧制松本高等学校関係資料(約一三〇〇点)があり、別して学校事務文書と、学生資料(含む思誠寮資料)から構成されており、後者については、松本市が設置する旧制高等学校記念館に寄託し、その保存・活用をはかっている。学校事務文書には、学校と文部省との間でやり取りした往復文書、学生の入学や成績・身上一・性行などに関する簿冊、松



信州大学創設関係資料

し・参考書類などが含まれており、準備過程の詳細がわかる。

大学の歴史に関わる個人資料の系統的収集は始まったばかりだが、例えば、一九四四年設置の松本医学専門学校校長として東京帝国大学医学部から転任した竹内松次郎氏の資料がある。松本医学専門学校校長・松本医科大学学長・信州大学設置事務責任者としての日常業務にかかわる日誌、会議資料がその中心である。筆または万年筆で書かれたわら半紙の原稿、それを和文タイプで打ち直した草稿、その草稿に朱を入れた校正原稿、そして会議などに提出した資料と、文章作成の一連の過程が理解できる点に特徴がある。詳細な分析は今後の課題だが、戦中から戦後にかけての専門学校から新制大学移行期を物語る貴重な資料である。

②の大学文書の系統的収集については、体制が整ったところで本格的に実施する見込みである。

設置から四年、まだまだ始まったばかりで課題は山積している。現時点での課題は、増加しつつある資料を保管する施設の確保と、創立一〇〇年をめざして行う日常

業務(資料整理)の遂行である。資料の閲覧等については、今しばらく困難な状況である。ご利用などご希望の際は、まず事前ご連絡、ご相談いただきたい。

利用案内

〈所在地〉〒三九〇一八六二 長野県松本市旭三二一 信州大学松本キャンパス内

〈電話〉〇二六三三七一三五三二(午前九時～午後四時)

〈Eメール〉archives@shinsu-u.ac.jp

〈URL〉https://www.shinsu-u.ac.jp/institution/library/archives/

〈交通〉松本バスターミナルのりば「信大横田循環線」または「浅間線」で「大学西門」下車。

〈休業日〉土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始。

〈利用〉資料の利用は当分の間行っていない。必要な情報については事前にお問い合わせください。